

日立金属スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.10.00

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2015年4月24日	新規制定

# Ver. 1.10.00 リリース情報(2015年4月)

## 機能修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

### 機能追加及び仕様変更

#### APLFM-11000-RC001

内容 保守コマンド機能において、ポートステータス情報の取得に失敗した場合、ログを保存し自動で装置再起動するコマンドをサポートしました。初期設定は有効です。

```
"config auto_recovery_mode < enable | disable > mac_internal_error"
```

関連 -

#### APLFM-11000-RC002

内容 保守コマンド機能において、ポートステータス情報取得失敗による再起動が2回(1~3回に指定可能)発生した場合、ポート閉塞する機能をサポートしました。初期設定は、全ポート閉塞します。

```
"config mac_internal_error allowed_times < value 0-2 >"
```

```
"config mac_internal_error safe_mode_block_ports < portlist | none >"
```

関連 -

#### APLFM-11000-RC003

内容 保守コマンド機能において、ポートステータス情報取得失敗によりポート閉塞した状態で再起動した場合、ポート解放するコマンドをサポートしました。

```
"config mac_internal_error leave_safe_mode"
```

関連 -

#### APLFM-11000-RC004

内容 保守コマンド機能において、コンポポートのステータス情報取得を停止させるコマンドをサポートしました。初期設定は有効です。

```
"config mac_internal_error external_phy_polling < enable | disable >"
```

関連 -

#### APLFM-11000-RC005

内容 ポートステータス情報取得の失敗による再起動が発生した場合に以下の SNMP Trap を送信する機能を追加しました。

```
"macInternalErrorDetected"
```

関連 -

APLFM-11000-RC006

現象 show tech\_support 情報において、CPU 例外処理(CPU Exception)が発生した場合の取得情報を追加しました。

関連 -

APLFM-11000-RC007

現象 show tech\_support 情報を TFTP サーバーにアップロードする機能を追加しました。

関連 -

## 修正

APLFM-11000-RC008

現象 MAC 認証または WEB 認証機能において、RADIUS サーバーからの Access-Accept 応答パケットに属性「Reply-Message」が含まれる場合、Reply-Message 定義の文字列と応答パケットの受信数によって装置再起動が発生する問題を修正しました。  
本問題は、認証エージング時間が短く設定されている場合など、認証回数の増加により発生頻度が高くなります。目安として Reply-Message 定義の文字列が 16 文字で約 27,000 回を超える応答パケットを受信すると発生します。

関連 -

APLFM-11000-RC009

現象 802.1x認証機能において、認証ポートに直接サブリカントが接続されている場合、リンクアップ時にサブリカントの認証画面が2回表示される問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11000-RC010

現象 LAG機能とSTP機能のポート併用において、LAGを経由する装置宛でのIPパケットに応答しない問題を修正しました。

関連 ApresiaLight シリーズWEB サイト「重要なお知らせ」  
・ APLFM シリーズにおいて STP 機能と LAG 機能を併用して使用する場合の注意点 (2015/3/11)

APLFM-11000-RC011

現象 ポートセキュリティ機能において、FDBテーブルに未登録の端末からの通信が制限されない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-11000-RC012

現象 ApresiaLightFM124GT-SS において、各ポートのリンク状態変化によって装置内部のポートステータス情報 (MACPHY 情報) が取得できなくなる問題を修正しました。  
本問題は、ポートのリンク状態が連続的に変化する環境で発生頻度が高くなり、FDB テーブル、リンク状態、ポート LED などの情報更新が停止します。

関連 -

APLFM-11000-RC013

現象 SSL 機能において、SSLv3 CBC モード利用時の脆弱性(POODLE)問題を対策しました。  
関連 HCVU000000017(CVE-2014-3566)

### 既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

#### 既知問題

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッディングをしないことがあります。(その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます)

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

## 適応機種一覧

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00 1.04.00 1.05.00 1.06.00 1.07.00 1.07.01 1.07.02 1.08.00 1.08.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE
1.09.00 1.10.00	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE ApresiaLightFM104GT-PoE

### 輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

### 商標一覧

Apresia は、日立金属株式会社の登録商標です。

Ethernet/イーサネット は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。